

カワハギ

分類: フグ目 カワハギ科
 学名: *Stephanolepis cirrhifer*
 英名: Leather jacket, File fish

本州中部以南から東支那海、オーストラリアにかけての暖海に分布し浅海の岩礁や海草の繁茂したところに生息する。鱗は細かく小さな棘があって体表は紙やすりのようにざらざらしている。第1背鰭は1棘で、モンガラカワハギ科のものが大小3棘もっているのが識別は容易である。腹鰭は腹部中央線上に1棘のみか又は全くないものもある。第2背鰭及しり鰭は上下対称の位置にある。小さなおちょぼ口で海藻や岩についている小動物をつついて食べる。興奮すると第1背鰭を立ててぐうぐうと音を発する。しゅんは夏で皮を剥いで肝臓と共にちりなべの他、刺身・煮付にして美味である。



ソウシハギ アセンション
Aluterus scriptus -1968-



サラサハギの一種
Navodon sp
 ニュージーランド-1970-



カワハギの一種 モザンビーク
S. auratus -1951-



テングカワハギ *Oxymonacanthus Longirostris* セーシェル
 -1974-

イサキ類

分類: スズキ目 イサキ科
 学名: 各項に記載
 英名: Grunt

全世界の暖海に分布し日本では本州中部以南から東支那海にかけて多く見られる。フエダイ科の魚類に似て左右に扁平でやや細長いが両顎に犬歯状歯はなく、背鰭棘やしり鰭棘は頑丈で前鰓蓋骨後縁に鋸歯があるので区別される。雑食性の沿岸魚で、水深20~30mの海藻の生え茂る岩礁のある海底で根付きとして、大群をなして生息する。コショウダイ属(*Plectorhynchus*)は幼魚と成魚とで斑紋が異なるヒゲダイ属(*Hapalogenys*)は体が陥円形で強く側扁し後縁部(尾鰭)は円く、顎や吻端に繊毛状のひげがある。



コショウダイの一種 ソマリア -1967-
Plectorhynchus gaterinus



左に同じ タンザニア
 -1967-



コショウダイの一種 モザンビーク -1951-
P. schotaf



シマコショウダイ コモロ諸島 -1968-
P. lineatus



左に同じ



アジアコショウダイ セーシェル
P. orientalis -1974-



セトダイ 北ベトナム -1967-
Hapalogenys mucronatus



チョウチョウコショウダイ(幼魚) ペンリン
P. chaetodontoides -1974-

(註) *Plectorhynchus* (旧) *Gaterinus* (旧) *Diagramma*